

令和 年 月 日

指導教員
(教授)
(署名)

本人

令和____年____月 博士課程____期____年の課程

専攻（ ）分野）入学・進学・編入学

学籍番号

氏 名 (自署) _____

現住所〒

固定電話等 ()

携帯電話等 ()

保護者等
(自署)

氏 名

学生との続柄

現住所〒

TEL ()

私は、下記のとおり休学したいので、許可くださるようお願いします。

記

- 1 休学期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日

- 2 休学理由 (該当する事項を○で囲み、右欄に詳細を記入すること。)

※ 病気及び留学・語学研修の場合は、それぞれ診断書及び許可書を添付すること。

- ### 3 休学中の連絡先

TEL ()

E-Mail

【事務確認欄】 学生・保護者等は記入しないでください。(授業料・奨学金欄を確認してから受理すること)

授 業 料	㊦	前期分	納入済	月 日	代行・窓口	免除申請中・免除(全額・半額・3分の1)・不許可・猶予中・分納(月分まで)・休学による免除(全額・()月分)			
		後期分	納入済	月 日	代行・窓口	免除申請中・免除(全額・半額・3分の1)・不許可・猶予中・分納(月分まで)・休学による免除(全額・()月分)			
日本学生支援機構奨学金	㊦	有・無	奨学生番号				異動願(届)	提出済	月 日
支援機構以外の奨学金	㊦	有・無	奨学金名称				異動願(届)	提出済	月 日
休 学 願 受 理 日	㊦	月 日							
学務情報システム	異動情報入力	㊦	入力済	月 日	教授会等承認登録	㊦	登録済	月 日	
	入力確認	㊦	確認済	月 日	承認登録確認	㊦	確認済	月 日	
前休学期間確認	㊦	～							

休学の願い出について

- ① 休学できる期間は、3月以上1年以内です。
ただし、病気、留学等の特別の事情がある場合は、願い出により継続して休学することができます。
- ② 休学願には、保護者等の連署が必要です。
- ③ 理由欄には該当する事項を○で囲み、右欄に詳細を記入してください。病気の場合には医師作成の診断書（病名等の秘密は厳守します。）、留学の場合は受け入れ先の留学許可書の写しもしくはそれに準ずる書類を添付してください。なお、理由が外部へ漏れることはありません。
- ④ 休学願は、修学上やむを得ない事情であると認められる場合に許可されます。審査の結果によっては許可されないことがあります。
- ⑤ 休学願の提出に当たっては、指導教員（教授）の署名を必要としますので、署名を得てから生命科学研究科教務係へ提出してください。添付の「休学願等に関する所見」は、指導教員（教授）との面談時に指導教員（教授）へ渡してください。
なお、休学許可書は、教授会等で承認された後に送付します。
- ⑥ 休学期間は、授業計画及び授業料の関係で、原則として月単位（月の初日から末日まで）となり、原則として年度をまたぐことはできません。
また、休学期間の初日は、休学願の受理日以前とすることはできません。4月1日から休学を希望する場合は、3月中に受理される必要があります。休学期間については、事前に生命科学研究科教務係に相談してください。
- ⑦ 休学期間内に、その理由がなくなったときは「復学願」を提出し、復学することができます。
なお、病気で休学している場合は、回復した旨の診断書を添付してください。
休学期間が満了し復学する場合は、休学期間が満了する以前に「復学届」を提出してください。
- ⑧ 休学期間中の授業料については、「東北大学学生の授業料の免除並びに徴収猶予及び月割分納の取扱いに関する規程」に基づき、免除される場合がありますので、早めに生命科学研究科教務係に相談してください。
- ⑨ 休学期間が引き続き3月以上の場合は、在学年数に算入されません。
休学は、通算して博士課程前期2年の課程にあつては2年を、博士課程後期3年の課程にあつては3年を超えることはできません。
- ⑩ 日本学生支援機構の奨学金交付を受けている者は、交付休止の手続きが必要です。

生命科学研究科教務係